

令和4年度 津市伊勢湾ヘリポート 指定管理者総合評価表

令和4年度の管理運営状況について、協定内容どおり適正かつ確実なサービスが提供されているかを、業務報告の聴取、実地調査等により、下記のとおり評価しました。

施設名	津市伊勢湾ヘリポート
指定管理者	株式会社伊勢湾ヘリポート
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日
施設の設置目的	ヘリコプターによる旅客又は貨物の運送等の用に供することにより、航空交通の推進を図り、もって本市の発展及び住民等の福祉の増進に寄与するため、ヘリポートを設置する。
指定管理者の業務	ヘリポートの使用の許可に関する業務 ヘリポートの施設、設備器具等の維持管理に関する業務 その他市長が必要とする業務
評価担当部課 (問い合わせ先)	都市計画部交通政策課交通政策・海上アクセス担当(電話059-229-3180)

評価は◎非常に良い、○良い、△やや悪い、×悪いの4段階です

区分	評価項目	検証結果	評価結果
管理状況について	適正な人員配置	適正な人員の配置を行っていた	○
	従事者の教育・研修	航空局が認定した航空保安教育訓練インストラクターが、教育訓練実施計画に基づき適切に訓練を実施していた	○
	関係法令の遵守	関係法令は遵守されていた	○
	緊急時等の対応	緊急時対応計画に基づき、管轄する消防署、格納庫利用者と連携して消防訓練などが実施されていた	○
	備品等の管理	点検・整備も行われており、適切に管理されていた	○
	個人情報保護	津市個人情報保護条例に基づき適正に実施されていた	○
	施設・設備の保守点検	施設・設備の保守点検を定期的に行っていた	○
	清掃業務	場内の草刈や清掃業務を適切に行っていた	○
	警備業務	概ね警備業務を適切に行っていた	○
	環境への配慮	こまめに電気を消灯するなど節電に取り組んでいた	○
	報告書等の整理及び提出	各種報告書等は整理されており、協定書に基づく期限内の提出がなされた	○

運営状況について	利用状況	令和元年度 1,205回 令和2年度 1,099回 令和3年度 1,084回 令和4年度 1,074回 新型コロナウイルス感染症の影響により外来機の飛来が減少したことから令和元年度と比較すると利用回数が減少しているが、令和2年度以降の水準と比較すると同程度で推移している。	○
	利用者満足度の向上	定期的な清掃、草刈り、巡回などを実施し、ヘリポートの安全性確保に努めた	○
	利用者の苦情、要望等の対応	利用者からの苦情・要望等はなかったが、要望を受け付けるための「ご意見箱」の設置等、利用者満足度の向上に努めていた	○
	事業の実施状況	津市伊勢湾ヘリポートの設置及び管理に関する条例及び津市伊勢湾ヘリポートの設置及び管理に関する条例施行規則に基づき、適切な運営が確認できた	○
	その他(利用促進等)	新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、昨年度に引き続きPRの規模を縮小し、施設利用者等へのPRに留めていたが、令和5年度以降新型コロナウイルス感染症の動向をみながら、全国にある各航空会社等に対するPRを実施予定	○
自主事業について	自主事業の適切な実施	給油量や給油回数についての書類は正しく整理されており、適切に実施されている	○
雇用・労働条件について	労働関係法令の遵守	労働関係法令を遵守し、雇用・労働条件への適切な配慮がなされた	○
収支状況について	収支決算状況	令和3年度は216,770円の純損失であったが、三重県防災ヘリの給油量が増加したことや、租税公課費が大幅に減少したことにより、令和4年度は929,741円の純利益となった。	○

**【総合評価】 ※適正な管理運営を行ってきたかを記入する**

- ・ヘリポートの使用許可等については、法令等を遵守し、適切に実施されていた。
- ・ヘリポート地内の施設、設備については、定期的に保守点検を行うなど、適切に管理されていた。
- ・ヘリポート地内の清掃や草刈り、また定期的な巡回を行う等、ヘリコプターの安全確保に留意した適正な管理運営が行われていた。

**【指定管理者に対して行った指導助言の内容・今後の業務改善(向上)に向けた考え方】**

- ・昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により、各航空会社等に対する利用促進のPRを実施できていないため、社会情勢を踏まえつつ適度の実施するように指導した。
- ・引き続き、効率的な経営に努めるよう指導した。